

INTERNET SHOP
銀座夢百貨

青森県神社庁

47 NEWS 地方新聞社が選ぶ！
ご当地グルメ
おすすめランキング

お取り寄せ通販サイト 47 CLUB
出店のご案内

47 NEWS 47news.jp
インターネットニュース

	東奥日報 ニュース速報
メール配信サービス	

Web 東奥への

2011年9月16日(金)

東奥日報

ニュース

Tweet

十鉄が六戸で住民説明会

-PR-

十和田観光電鉄(本社十和田市)の鉄道存続問題で、同社は15日夜、沿線の六戸町七百地区公民館で住民説明会を開き、存続に必要な10年間で約5億2千万円の負担に理解を求めた。出席者からは「90年の歴史は重い。存続を」と同社を激励する意見が半数以上で、廃止やむなしの声はなかった。十和田市、三沢市、六戸町の沿線3市町でそれぞれの議会での議論に加え、住民説明会を終了。各議会は支援に否定的、住民レベルでは同情的一と温度差が見られた。3首長は今月末にも意見を集約し、十鉄に回答する。

六戸町の会場には沿線の住民約30人が集まった。十鉄の白石鉄右工門社長が近年の利用実績、今後の見通し、設備投資の内容について説明した。

住民からは「生徒や高齢者が受ける恩恵は大きい」など、地域の足確保へ存続を期待する意見が相次いだ。しかし「今、支援・負担を決めても、将来若い世代が苦しむ」「津軽鉄道と比較すると話題づくりに欠け、企業努力が足りない」といった、不安や経営陣の努力不足を指摘する声も出た。一方で、代替バスの停留所設置や運賃への質問も多く、白石社長は「できるだけ鉄道(の運賃)より上がらないようにしたい」と答えた。

七百町内会長の坂本定市さんは「経営が苦しいというのはよく分かる。廃線という結論では寂しすぎる」と沿線住民の思いを代弁したが、「議論する時間が短すぎる」と語った。

説明会後の取材に白石社長は「3市町の議会は要請に対し否定的見解が多く、非常に重く受け止めている。最終的に3市町の判断になるが、何とか良い方向に向かってほしい」と存続への思いをにじませた。

県外限定!!「東奥日報電子版」
パソコンでその日の東奥日報がまるごと読めます
購読のご案内、申し込みはこちら [>>クリック](#)

[<<戻る](#)

■PR

- ・肉や魚にもぴったりの黒酢たまねぎドレッシング【47CLUB】
- ・【47CLUB】全国の地方新聞社厳選の商品をお取り寄せ！
- ・東奥日報CD縮刷版 購入はこちら
- ・幼・小・中・高一信頼の学習法Z会【今なら小冊子を無料進呈！】
- ・フルカラーの豊富なデザイン♪制作費240円からのオリジナル名刺
- ・LIONのラクトフェリンで健康習慣

HOME